

**製品名: 核受容体 NR4A1 (リン酸化 Ser351) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab05824**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	77kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NR4A1 GFRP1 HMR NAK1
別名	Nuclear receptor subfamily 4 group A member 1 (Early response protein NAK1;Nuclear hormone receptor NUR/77;Nur77;Orphan nuclear receptor HMR;Orphan nuclear receptor TR3;ST-59;Testicular receptor 3)
遺伝子 ID	3164.0
SwissProt ID	P22736
免疫原	ヒト核受容体 NR4A1 (リン酸化 Ser351) 由来の合成ホスホペプチド

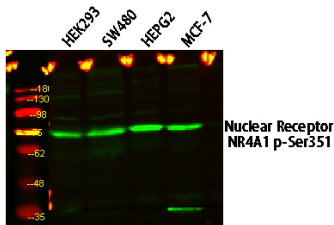
**背景**

この遺伝子は、ステロイド-甲状腺ホルモン-レチノイド受容体スーパーファミリーのメンバーをコードしています。発現は、ヒトリンパ球におけるフィトヘマグルチニン、および活性化停止線維芽細胞における血清刺激によって誘導されます。コードされているタンパク質は核転写因子として作用します。このタンパク質が核からミトコンドリアへ移行することでアポトーシスが誘導されます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2011年1月]、機能：オーファン核受容体、誘導：成長刺激剤による、類似性：核ホルモン受容体ファミリーに属する、類似性：核ホルモン受容体ファミリー NR4 サブファミリーに属する、類似性：核受容体 DNA 結合ドメインを1つ含む、サブユニット：GADD45GIP1 と相互作用する、組織特異性：胎児の筋肉および成人の肝臓、脳、甲状腺

## 研究分野

タグとセルマーカー

## 画像データ



さまざまな溶解物のウェスタンブロット分析、核受容体 NR4A1 (リン酸化 Ser351) ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4° で一晩処理し、二次抗体を 1:10000 に希釈し、37° で 1 時間処理しました。